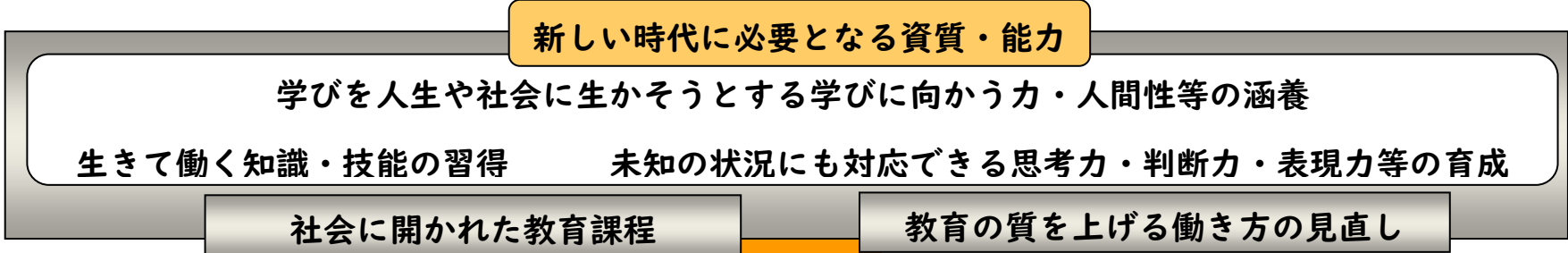


令和7年度 椎葉村立大河内小学校 学校経営ビジョン

椎葉村の教育基本理念・基本方針	
【基本理念】	「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 椎葉の人づくり」
【基本方針】	「夢と志をもって可能性に挑戦し、未来を担う人づくり」 「自ら学び、人を育み、社会を創る人づくり」 「伝統文化を担い、芸術・スポーツに親しむ人づくり」



大河内小学校の教育目標		
思いやりの心をもち、ふるさとを大切にする、かしこくたくましい大河内っ子の育成		
<b>めざす教師像</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 教育愛に燃え伸びる教師</li><li>○ 研究と修養に努める教師</li><li>○ 心豊かで信頼される教師</li></ul>	<b>めざす児童像</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 自ら考える子</li><li>○ 心の強い子</li><li>○ 体のたくましい子</li></ul>	<b>めざす学校像</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 楽しい学校</li><li>○ 創造性豊かで活気のある学校</li><li>○ 美しいきまりよい学校</li></ul>

学校経営方針
○ 「人間尊重の精神」に徹し、一人一人の児童の自尊感情・自己有用感を高める教育を組織的に行う。
○ 他者とのかかわりをとおして、「生命を大切にする」教育を推進するとともに、児童が安心して学びに向かうことができる学習環境の整備に努める。
○ 「認める」「支える」「鍛える」「褒める」指導をとおして、児童一人一人のよさや可能性を最大限に伸ばす教育を推進する。
○ 「教育は人なり」の理念に基づき、絶えず「教師力」「人間力」の向上を図りながら、教職員としての資質向上に努める。
○ 伝統ある学校であることを自覚し、地域に根ざした開かれた学校の実現に努める。

本年度の重点目標と目標達成のための手段、具体的な取組		具体的な数値目標等
つながる力・伝える力の育成	【目 標】 自分の思いや考えを的確に伝えるコミュニケーション能力と豊かな人間性・社会性を身に付けさせる。	
	①発表する場の設定、充実 ○アウトプットを意識した授業の構築 ○業間活動の工夫や各種行事における表現活動の場の設定 ○全校話し合い活動（ミーティングタイム）の充実	・年6回実施
	②道徳教育や生徒指導、人権教育の充実 ○「特別の教科 道徳」の充実 ○全教育活動を通じた道徳教育の実施 ○自己指導能力の育成 ○教育相談の充実 ○人権感覚の向上	・道徳科実施100% ・いじめ・不登校解決100%
	③読書活動の推進 ○読書の質の向上 ○学校図書館での一斉読書の時間の設定 ○BOOKの日の実施（読み聞かせや親子読書のすすめ）	・読書量前年比プラス ・毎月9日実施
	④学校間連携や豊かな体験活動の実践 ○目的を明確にした体験活動の積極的実施（専門家活用 オンライン活用） ○集合学習、ユニット学習の機会を生かした表現力・対人関係力育成 ○ボランティア活動の充実 ○計画的なキャリア教育の実施（キャリア・パスポートの活用）	・毎週金曜日実施 ・キャリアパスポート実施100%
学ぶ力の育成	【目 標】 学校の指導体制を整備し、授業力を高め、児童の学力を向上させる。	
	①「分かった・できた」と実感できる授業の実践 ○「ひなたの学び」（主体的・対話的で深い学び）の具現化を目指した授業実践 ○ICTを活用した授業の工夫・改善 ○椎葉村学（総合的な学習の時間）の完全実施と改善	・学力調査分析全学年100% ・完全実施（中・高学年）
	②学習規律の徹底と学習習慣の定着 ○立腰指導の徹底 ○「聞く」「話す」態度の育成 ○家庭との連携を図った学習の習慣化	
	③複式解消や個別指導の工夫 ○支援体制づくり（国語・理科での複式解消） ○ユニット学習の推進 ○教育アプリ「キュビナ」「JAGA ネット」の積極的活用	・活用率80%以上
	④特別支援教育の充実 ○ニーズに応じた指導の実施（個別的教育支援計画や指導計画の見直し） ○支援体制の充実（通級時の支援）	・支援指導計画の見直し
たくましい心と体の育成	【目 標】 体力・健康づくりや食育・安全教育を充実させ、児童一人一人に望ましい習慣や実践力を身に付けさせる。	
	①体力向上プランの完全実施 ○教科体育の充実（運動技能の向上のための指導） ○運動の日常化（業間活動の充実、外遊びの奨励、外部機関との連携他）	・スクールスポーツプラン目標達成
	②健康教育の充実 ○保健衛生習慣の定着 ○生活リズムの形成 ○感染症への理解と対応	・感染症対策の徹底 ・むし歯治療率100%
	③食に関する指導の充実 ○給食指導の充実（給食感謝集会の実施） ○家庭との連携の工夫（弁当の日等）	・弁当の日の各家庭での実施率100%
	④危険予知能力や危険回避能力の育成 ○安全意識の向上を目指した安全教育（安全指導、安全学習）の充実 ○避難訓練の工夫 ○日常的指導の充実	・避難訓練 年4回の実施
家庭・地域との連携・協働	【目 標】 学校と家庭・地域との連携を通じた教育活動を推進し、地域から信頼される学校づくりを行う。	
	①地域を生かした学習の充実 ○地域素材・人材の積極的活用 ○椎葉村学の充実 ○地域を学習の場とする活動の実施（農業体験、川での学習等）	
	②学校と家庭・地域の一体活動の充実 ○地域の伝統芸能及び文化の習得 ○学校図書館の開放 ○家庭や地域への啓発活動（各種たより） ○合同運動会や持久走大会の実施	・参観率90% ・懇談参加率90%
	③地域の学校支援活動の充実 ○学校運営協議会や地区役員、集落支援員との連携 ○椎葉村学の充実のための人材活用・発掘	
	④地域から学校運営への参画促進 ○学校運営協議会の活動充実 ○実効性のある学校評価への改善	

